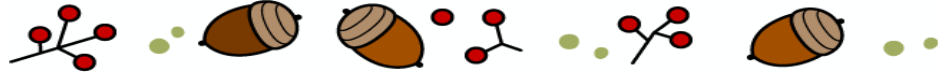


進路だよりですよ

NEWS 2015 TIMELY No. 11

2015年10月20日発行

学校説明会で!!



2学期になって、多くの私立の学校で学校説明会が開かれ、3年生の先生たちで手分けして出かけました。学校の特色や生活のようす、将来の進路や取得できる資格などの説明のほか、例年どれくらいの成績の人が合格しているのかなどの情報も聞くことができました。そうした中で、どの高校の入学試験担当の先生も「やる気のあるまじめな生徒を」と言われます。私立の学校は、試験での面接も重視しています。面接で礼儀正しくまじめに試験に臨むことは当然ですが、うわべだけまじめにふるまっている人ではなく、本当に誠実な人に入学してほしいと思われています。旭中に訪問された先生も「髪を染めていたり、ピアスの穴を耳にあけていたりするなど、校則も守れず、外見ばかりを飾っているような人は入学してほしくない」とよく言われます。

私立の学校の募集要項には「優秀な人物」ということばがよく出てきます。なにかすごい人を指しているようにも聞こえますが、これは次のような生徒としてと考えてよいと思います。**・時間を守っている** **・周りに迷惑をかけない** **・学校の規則を守っている** **・当番活動や清掃などをきちんとやっている** などです。入学試験というと、どうしても学習成績だけに気がいってしまいがちですが、「ひとがら」もずいぶん大切な条件なのです。さて、あなたは大丈夫でしょうか。

進学すること!!



高校や専修学校は義務教育ではありません。それらの学校へ「進学する」ということは、「自分の意志でさらに勉強をする」ということです。ほとんどの人は、大丈夫ですが、時々「本当に進学するの」と思ってしまう人もいます。たとえば、「授業が始まっても教科書・ノートが机に出ていない、授業中に居眠りをしている、いつまでも周囲の友人とおしゃべりが続く、宿題などをやってこない、提出物の期日を守らない」などです。また学習だけではありません。もうすぐ義務教育を終了するのに「こんなことでもいいの」と思ってしまう人もいます。たとえば、「給食のエプロンやマスクをつけない、掃除場所にもいかない、自分の仕事もしない、服装などを指導されても改善しようとしなない、不要物を持ってくる」などです。義務教育でないということは自分の意志で、その学校へ行くことです。経済的な負担を家族にかけることにもなります。もう一度、自分の学習姿勢と生活態度を見直し、しっかりした意志をもって進学してほしいと思います。

進路説明会!!



先日の進路説明会には、お忙しい中多くの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。専修・私立・公立あわせて4校の先生に話をさせていただきました。話を聞いた学校が志望校ではなかった人もいるとは思いますが、しかし、直接の志望校でなくても専修学校・高等学校それぞれ共通することがらもあり、進路選択の参考になることも多くありました。これからは、具体的な進路先をあげ、その可能性を考えていかなければなりません。進路について不明なことは、遠慮せず担任の先生に聞いてみてください。